

飯塚先生との思い出いろいろ

飯塚宗夫先生が本年4月にお亡くなりになりました。大正11(1922)年、長野伊那市生れの88歳、米寿の年でありました。先生は本学には昭和48(1973)年に農林省果樹試験場から文部省千葉大学園芸学部農場教授として来校され、その後、園芸学部育種学研究室教授になられ、昭和62(1987)年に65歳で停年退職されました。退職後、浜松市フラワーパーク園長、タキイ種苗研究農場技術顧問をされておりました。

先生は、千葉高等園芸学校で穂坂八郎先生の花弁研究室で花卉専攻をされ、昭和15(1940)年卒業後、京都帝国大学農林生物学科で育種学を専攻。この後4年間は軍隊で少尉までになり、終戦を迎えました。

先生の研究は、園芸作物を材料とし、植物遺伝学、育種学的視野での基礎から実用的なものまで幅広く、国際的にも著名な多くの成果があります。自家不和合性植物、特に大根や白菜などのアブラナ科植物の内婚弱勢、自家不稔性、F1育種。その他、ハウレンソウ、ブドウ、ユリなど、多くの野菜や果樹、花卉の育種を行ない、昭和44年には日本育種学会賞を受賞されています。また米国のメキシコのチャビンゴ大学に長期滞在中。特に熱帯園芸作物の起源と進化に関心をもたれ、中南米、東南アジア諸国に現地調査を行い、数多くの新野菜や花卉類を導入されました。

私が先生とお付き合いさせていただいたのは、先生が

農場に着任されてからです。特に、1975年、「中南米の園芸植物の探索と導入」というテーマでの研究視察に行かないかとお誘いを受けた時から始まります。メキシコを中心に中南米14カ国、3ヶ月間、三位正洋先生や渡辺重吉郎助手も一緒しました。

先生のご性格は非常にまじめで厳しく、私には大変な時もありました。例えば、熱帯の広大な果樹園に入りますと、朝早くから午後まで果樹一本一本の花実を記録されるのでした。果樹だけの清耕園では野生植物はまったく見られず、暑い園では耐久力が必要でした。今、先生の履歴を拝見すると戦中は少尉であったということ。これが先生の強烈な「耐える」「粘る」力のもとであったと考えられますが、戦争経験がない私には驚きでした。

メキシコ旅行中、日本でも普及した帝王ダリアを初めて見たときはびっくりしました。また赤いダリアや赤いサルビア、いずれも種小名は緋赤という意味のコクシネアが印象的でした。さらに見渡す限りの高い柱サボテン林には威圧されました。

私にとって、故人の植物研究など、多面のご指導・ご鞭撻は80歳になった今日でも私の頭から抜けない不思議な魅力があると感じております。先生のご冥福をお祈りいたします。

千葉大学園芸学部名誉教授 横井政人

飯塚先生との思い出

先生との出会いは、三十数年前の学生時代、花卉研の仲間に誘われ農場にあった先生の研究室をのぞいた時に始まります。自由度の高いとても不思議な空気を持つ部屋でした。私は全く勉強をしない学生であったため、見かねた先生はあの眼鏡越しのポーズで「文献のひとつづつ読んでおけや」と言われ、与えられたのが『カボチャ野生種の分布と分類』に関する文献でした。それは非常に興味をそそるもので、あの文献からあの時に学ばせて頂いた「育種のもととは野生種の把握と分類にある」という考えが、今日まで私が曲がりなりに育種をやってこれた基盤となっています。ただの一つの文献でその後の道の全てを示して頂いた慧眼に全く頭が下がります。



興味ある植物を見つけカメラを構える飯塚先生
(1990年頃)

育種の現場を大事にされる先生はタキイ農場にもよく視察に来られ、「軍隊式のタキイ」を上回る気力に満

ち溢れた姿を常に示されたため、野菜も花も我々ブリーダーは育種意欲をおおいに鼓舞されました。先生からインスピレーションを受けたブリーダーも多かったと思います。今、タキイには千葉大で先生と接点のあった卒業生が、会社の要所々々でプライドを持って仕事に励んでいます。

先生の育種志向はどうも生来のようです。三年程後に後輩の須江君と藤沢のご自宅に伺わせて頂いた折には、ご高齢にも関わらず庭先のプランターで観賞用ダイコンを育種されており、「ダイコンは発生遺伝学のおもしろいよ」と熱心に話されていたことが思い起こされます。その際、藤沢の駅前の花屋さんでヒマワリの花束をあつらえお持ちしましたが、「随分ヒマワリはヒットしたらしいね。よかったね」と大変喜んで頂きました。ダメ学生も少しは先生の教えに報いることができたのかと安堵したものです。

当時の千葉大農場には、飯塚先生が横井、渡辺両先生とともにメキシコで収集されたサルビア・コクシネアがありましたが、折しも今年このサルビアでタキイは新品種を発表することになりました。これが先生に対するひとつの恩返しになればと思っています。

先生から教えを頂いたたくさんの皆様と一緒に改めて先生に感謝し、ここに深くご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

タキイ種苗(株) 羽毛田智明(園芸S53年卒)